



ママたち、お正月はゆっくりできましたか？(できるわけないですよね...)  
2023年、新しい年もよろしくお願ひいたします。お子さんたち、ママたちにとって笑顔の絶えない1年となりますように☆

2年生のお子さんたちは、いよいよ4月から3年生になるのですね。月日の経つのが早くてびっくりです。常々わたしが「小学3、4年生が一番大変!」と言っているせいで「いよいよ魔の3年...」と恐怖におびえさせてしまっごめんなさい。ここで改めて、何が大変かということの説明しますね。

これまで自己中で自分のことしか見えていなかった、周りが見えていなかった、その子たちが精神的に成長し発達してきたために、周りを見る力がついてくるのです。そして、その時、「あれ? みんな、どうして平気なの?」「みんな、どうして勉強できるの?」「どうしてそんなに早くに動けるの?」などなど。周りの友だちと自分を比べて、どうして自分ではできないのだろうと落ち込み、自信をなくしていきがちなのです。この時、自信を失ってしまうと、のちのちまで響くのです。何かことあるごとに「どうして自分は...」から「どうせ自分は...」に変わっていくのです。

誰でも得意、不得意があり、自分でも納得レバランスをとりながら生活していると思います。そのさじか減は「あ、うん」の呼吸というか、無意識というか、成長の過程で折り合いをつけながら、自分という人間と付き合っていくものです。誰に教えられたわけでもないのに。

でも、ママのりあに通う子どもたちは、その折り合いのつけ方が分からない傾向にあります。だから教えてあげないといけない。「困った時は助けを求めれば いいんだよ。」「できないことが あっても いいんだよ。」「上手に

できなくても いいんだよ。」「自分なりに楽しめれば いいんだよ。」「失敗してもいいんだよ。」そして、一番大切なこと。「あなたには いいところがたくさんある。」「あなたは素晴らしい。」それを伝える必要があるのです。適切な場面で、本人が納得のいくように伝えるのです。それが療育(ソーシャルスキル)です。大人との関係性の中だけでなく、むしろそれ以上に、子ども同士の関係性の中で築いていくことが大切なのです。喧嘩したり、仲直りしたり、でもそこにママのりあの職員が立ち会いながら、子ども同士の関係性を築いていく、そして、友だちを、自分を認めつつ、折り合いをつける方法を学び、同時に、自分に自信を持てるようになっていくのです。

「魔の3年生」ではありません。「大変なときかもしれないけど、成長に必要な3、4年生」なのです。お互いに許し合い、認め合い、育ち合う。そういう関係性を「ママのりあ」の中で築いていって欲しいなと願っています。

先生たちに  
今年の抱負書いてみました♡

2023

ひでみ... 美味しいものたくさん食べて、お休みの日ダンス復活♪  
まこと... 3キロやせる! さとし... 積ゲンを減らす  
ときこ... レジン製作、上手になりたい  
みさき... もっとポケモンをうまく描けるようになる  
林... ポックリお腹をへこませる  
のりこ... 運動をする? まきこ... 黙る。  
めぐみ... 動けるカラダになる!! あい... 趣味、夢中になれることを見つけない!  
ゆかり... ライグに行くぞ♪ なおみ... やせる!!!  
みき... 目指せ! 見た目マイナス10歳! ゆきえ... 今年も笑顔で♡  
あやこ... プラバンを上手に焼けるように ゆうこ... 推しに会いたい♡  
さん... 志望校合格!! ともき... 彼女が欲しい

「我が子大好き! その子が好きな自分も大好き!」  
って、一人ひとりのママに感じてほしい。  
そのため、ママのりあの職員一同、せいっぱい  
お手伝いさせていただきます♡ 理事長 長島 英美